

貸借対照表

平成17年3月31日現在

科 目	合 計	一 般 会 計	EAAC特別会計
資産の部		円	円
1 流動資産			
現 金	513,989	513,989	
普通預金	95,368,388	95,368,388	
公社債投資信託	61,171,565	61,171,565	
流動資産合計	157,053,942	157,053,942	0
2 固定資産			
国際会議記念基金			
普通預金	37,000,000	37,000,000	
定期預金	3,000,000	3,000,000	
公社債投資信託	47,000,000	47,000,000	
国際会議記念基金合計	87,000,000	87,000,000	0
その他の固定資産			
建物附属設備	10,093,932	10,093,932	
什器備品	1,440,152	1,440,152	
敷金・保証金	8,713,870	8,713,870	
EAAC準備引当預金	2,605,958		2,605,958
退職給与引当預金	4,132,100	4,132,100	
その他の固定資産合計	26,986,012	24,380,054	2,605,958
固定資産合計	113,986,012	111,380,054	2,605,958
資 産 合 計	271,039,954	268,433,996	2,605,958
負債の部			
1 固定負債			
退職給与引当金	4,132,100	4,132,100	
固定負債合計	4,132,100	4,132,100	0
負 債 合 計	4,132,100	4,132,100	0
正味財産の部			
正 味 財 産	266,907,854	264,301,896	2,605,958
(うち国際会議記念基金)	(87,000,000)	(87,000,000)	(0)
(うち当期正味財産増加額)	(1,388,299)	(-1,217,659)	(2,605,958)
負債および正味財産合計	271,039,954	268,433,996	2,605,958

注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準および評価方法について
有価証券については、原価法を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却について
有形固定資産の償却は定額法により行っている。
- (3) 引当金の計上基準について
退職給与引当金は期末の要支給額の100%を計上している。
- (4) 資金の範囲について
現金、預金および有価証券としている。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

現金	513,989	円
普通預金	95,368,388	
公社債投資信託	61,171,565	
合計	157,053,942	
次期繰越収支差額	157,053,942	

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	11,477,092	1,383,160	10,093,932
什器備品	1,631,200	191,048	1,440,152